

## 海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2018年第1四半期（1月～3月）分）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

#### (1) 一般犯罪

ドバイ警察によると、ドバイ首長国における2017年の手配被疑者の検挙人員は、16,395人で、前年の13,398人に比べ22%増加した。

また、2018年の最初の2か月間において、ドバイ警察は、3,220人の手配被疑者を検挙した。

ドバイ警察によると、ドバイ首長国における2017年の銀行及び両替所における強盗又は窃盗事件の認知件数は、前年に比べ90%減少した。また、2018年第1四半期における、銀行等での強盗又は窃盗事件は、2件の窃盗事件のみである。

#### (2) テロ

特記事項なし。

#### (3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

#### (4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

#### (5) 日本人に対する犯罪

特記事項なし。

### 2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

#### (1) 殺人

##### ○ アジュマーン首長国（1月8日報道）

アジュマーンの路上において、違法薬物取引に関連する2つのグループが争いとなり、コモロ人の男3名がUAE人の男性を刃物で突き刺すなどして殺害した。また、別のUAE人の男性は、被害現場から逃げようとしたところを車にはねられて死亡した。

##### ○ ドバイ首長国（1月16日発生）

ラシディーヤ警察署管内の野菜・果物市場において、従業員のパキスタン人の男は、同僚の男性とけんかとなり、刃物で胸部を突き刺して、殺害した。

##### ○ ドバイ首長国（1月22日報道）

アル・クセース警察署管内において、UAE人の男は、友人男性から家族を侮辱されたことに腹を立てて同人を呼び出したが、同人が話し合いの際に質問に答えなかったことに更に憤慨し、所持していた刃物で複数回突き刺すなどして、殺害した。

#### (2) 強姦・強制わいせつ

##### ○ ドバイ首長国（1月17日発生）

ムラカバット警察署管内のアパートにおいて、ネパール人清掃員の男は、エレベーターを降りてきた幼女を室内に引っ張り込み、鍵を掛け、キスをしたり、服を脱いで自分の身体を触らせるなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国 (1月20日発生)

ドバイのジュメイラ・ビーチにおいて、イラン人とUAE人のエンジニアの男2名は、共謀して、知り合ったサウジ人女性を無理矢理車に押し込み、羽交い締めにするなどして逃げられないようにし、同女性を強姦した。

○ ドバイ首長国 (1月28日報道)

ブル・ドバイ警察署管内のアパートにおいて、バングラデシュ人労働者の男は、学校から帰宅し、エレベーターに乗ったヨルダン人少女の後を付けて、同エレベーター内で、無理矢理類にキスをし、髪の毛や顔を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ラアス・ル・ハイマ首長国 (1月31日発生)

UAE人の男は、求職中のフィリピン人女性をアル・ラシディーヤ・メトロ駅に誘い出し、車でラアス・ル・ハイマの住宅まで連れて行った上、部屋の中で、同女性の携帯電話を取り上げ、殴打するなどして脅し、服を脱がせて、強姦しようとした。

○ ドバイ首長国 (2月13日発生)

アル・バーシャ警察署管内のスーパーマーケットにおいて、インド人のレジ係の男は、スーダン人少女に対して、棚の陰の人目の付かない場所で、無理矢理服の中に手を入れるなどして身体を触り、抱き付くなど、強いてわいせつな行為をした。

○ ドバイ首長国 (3月22日報道)

アル・バーシャ警察署管内のジムにおいて、バングラデシュ人の清掃員の男は、アルジェリア人少女に対して、器具の使い方を教えながら、同女の身体を触るなど、強いてわいせつな行為をした。

(3) 強盗、誘拐

○ シャルジャ首長国 (2月8日発生)

シャルジャの工業地帯にある食料品店において、アフリカ人の男3名は、入口ドアを壊して侵入し、店内にいた従業員を刃物で脅して、現金や携帯電話を強取した。

○ ドバイ首長国 (2月24日発生)

アル・クセース警察署管内において、バングラデシュ人の男2名は、帰宅途中のバングラデシュ人男性に車で近付き、犯罪捜査局の捜査員を名乗って呼び止め、同男性を乗車させて誘拐し、車内で脅して縛り上げた上、現金1万5,000ディルハムと指輪を強取した。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。